

# あべともこニュース

## 国際法違反のイラン攻撃、即時停止を！

### ◆イラン攻撃、即時停止を。

二月二十八日に突然に始まったアメリカとイスラエルによるイラン攻撃は、その後のイラン側の反撃、そしてホルムズ海峡の実質的封鎖によって、世界経済にも大きな影を落とすつつあります。日本政府は石油の備蓄が二百日以上あるとして、国民生活の危機感が煽られないよう必死な答弁を繰り返しますが、しかし現実には石油製品の値上がりなどの影響が既に出てきており、状況の悪化が強く懸念されます。

トランプ大統領はイランの石油化学施設への攻撃に及び、さらに発電施設への攻撃も言及していますが、そもそも発電施設や橋など、市民生活を著しい困難に陥れる攻撃は、ジュネーブ条約で禁じられています。

国際法無視の批判はアメリカ国内からも広がっており、800万人の抗議デモも行われています。アメリカにはイラン攻撃を停止し、世界の経済の混乱を防ぐ責任があります。



前衆議院議員あべともこプロフィール  
 当選9回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこ子どもクリニック（湘南台）理事長

### ◆超党派人道外交議連再起動

昨年の末以来、突然の衆議院解散総選挙で中断していた人道外交議連を四月一日に二ヶ月ぶりに再開することができました。

会長は引き続き石破茂前首相ですが、幹事長には近藤昭一さんに代わって副幹事長の谷合参議院議員、そして事務局長に私に代わって伊勢崎賢治参議院議員が就任しました。

イランをはじめとする中東情勢が緊迫し、人道状況も厳しいにも関わらず、開催が遅れたことをお詫びし、新体制で引き続きしっかりと活動していくことが確認されました。

この議連は議員の他に、国際法の専門家や有識者にもアドバイザーとして参加して頂



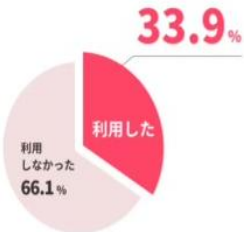
加して、日本の人道支援が更に発展することを目指して活動してきました。新たに当選した方も含め、議連入会も盛り上げていきます。

### ◆産後ケアの充実を目指して

四月一日にもう一つの議連総会もありました。『産前産後の母体に対するケアを通じて包括的に女性支援を考える議員連盟』という長い名前ですが、先の国会で発足し、四回目の総会で、私は顧問になっていきます。

これまでもご紹介してきましたが、私が国会議員活動の中で力を入れて超党派で成立させた法律に産後ケア事業があります。2021年に改正母子保健法が施行され、各自治体の取組が努力義務となっており、その後年々拡充されていますが課題もありません。今回の議員連盟では取り分け妊娠、分娩が与える母体への負担をどう軽減していくか、腰痛や尿もれは勿論、骨盤への負担などで色々な症状がその後も続く場合があるなど、女性の体をしっかりと守るためのサポートの重要性が指摘されています。お産を安全に、安心して臨むことができるよう、妊娠中からのケアと産後のケアも併せて充実させていきたいです。

自治体の産後ケア事業を  
 実際に利用しましたか？



自治体の産後ケア事業を利用しなかった理由を教えてください。

利用の仕方がよく分からなかった	20.5%	費用が高かった	17.8%
利用するまでの手順が複雑で迷った	14.3%	子どもを預けるのが不安だった	13.9%
産後ケア事業を利用しようと思わない	10.3%	利用しようと思ったら断られた	1.3%

※アンケート対象：全国の子育てをしている保護者（自治体から産後ケア事業の案内を受けた319名）  
 アンケート実施期間 2024/2/9～2024/2/21



2024.02.29  
 BABY JOB 株式会社  
 投稿より